



しろの 議会だより

2009年
NO. 17
平成21年8月発行
七戸町議会
広報編集 特別委員会



完成間近の七戸（仮称）駅（7月8日撮影）

六月定例会

定例会の主な審議内容	2
臨時議会の主な審議内容	3
一般質問に3人登壇	4
委員会の動き	8

六月定例会

平成21年第2回定例会は6月8日に開会し、三上正二議会運営委員長の報告のとおり、会期を12日までの5日間と決定しました。

8日は、今定例会に上程された議案11件、報告2件について、町長の提案理由説明、11日は一般質問(3人)、最終日の12日は議案審議が行われました。提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され予定どおり閉会しました。

副町長に大平均氏選任

6月12日定例会本会議で選任される



主な審議内容

議案

○七戸町納税奨励条例の一部改正

健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険税の徴収方法に特別徴収が導入されたことから所要の改正をするものです。
☆全会一致で可決

○七戸町中央公園設置及び管理に関する条例の一部改正

七戸町中央公園が教育委員会に所管替えになったことに伴い、所要の改正をするものです。
☆全会一致で可決

○七戸町立七戸幼稚園保育料徴収条例の一部改正

七戸幼稚園保育料免除規定において、文部科学省の

「幼稚園就援奨励費補助金交付要綱」が改正されたことに伴い、所要の改正をするためのものです。
☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

県内自治体の状況を考慮し、所要の改正をするためのものです。
☆全会一致で可決

○七戸町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

地方自治法の規定により委員として、松下喜一氏、田中充男氏、盛田駿造氏、上原子勝男氏、補充員に、和田幸悦氏、仁和守氏、新館雄一氏、鳥谷部政雄氏とするものです。

追加議案

○工事請負契約の締結

七戸町農産物直売施設新築工事にかかる請負契約を締結するためのものです
☆全会一致で可決

○七戸町副町長の選任につき同意を求めることについて

空席となっている副町長について、大平均氏を選任するためのものです。
☆賛成多数で同意

報告

○平成20年度青森県上北郡七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

☆全会一致で承認

○平成20年度七戸町土地開発公社収支決算の報告について

☆全会一致で承認

請願

○ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する請願書
☆全会一致で採択

○障害者自立支援法の抜本的な改正を求める請願書
☆全会一致で採択

○国直轄事業負担金の廃止を求める請願書
☆全会一致で採択



本会議開会に所信表明する小又勉町長

平成21年度6月補正予算

発議

区分	補正額 →	予算総額
一般会計(第1号)	4億5,800万0千円 → 106億500万0千円	
特別会計	国民健康保険(第1号)	1,459万9千円 → 23億3,019万6千円
	老人保健(第1号)	404万9千円 → 1,754万7千円
	後期高齢者医療(第1号)	7万2千円 → 2億9,217万2千円
	介護保険(第1号)	△841万4千円 → 18億2,880万0千円
	公共下水道事業(第1号)	△210万0千円 → 7億781万0千円

※ () 内の号数は、補正予算の回数を表します。

○障害者自立支援法の抜本
 ☆全会一致で可決

○ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する意見書(案)の提出について
 ☆全会一致で可決

○国直轄事業負担金の廃止を求める意見書(案)の提出について
 ☆全会一致で可決

○専決処分事項の報告について
 ☆全会一致で可決

○七戸町税条例の一部改正
 (平成20年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算(第6号))
 (平成20年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算(第5号))
 (平成20年度七戸町老人保健特別会計補正予算(第4号))
 (平成20年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))
 (平成20年度七戸町介護保険特別会計補正予算(第5号))
 (平成20年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号))
 (平成20年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算(第2号))
 (平成20年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号))

○教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
 ☆全会一致で同意

○七戸町職員給与に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆賛成多数で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

臨時議会 平成21年5月11日

(第5号)
 (平成20年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号))
 ☆全会一致で承認

特例を定めるためのものです。
 一部改正

教育長の期末手当の支給割合の特例を定めるためのものです。
 ☆全会一致で可決

○七戸町教育委員会教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の
 ☆全会一致で可決

臨時議会 平成21年5月29日

○七戸町職員給与に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆賛成多数で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決



新教育長に倉本 貢氏就任

5月18日付けで教育長に就任しました

○七戸町教育委員会教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の
 ☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆賛成多数で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町職員給与に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆賛成多数で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆賛成多数で可決

○七戸町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

○七戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 ☆全会一致で可決

一般質問



佐々木寿夫 議員

七戸(仮称)駅開業による地域活性化について

議員

町長は、選挙公約の1番目に、七戸(仮称)駅開業による地域活性化を掲げ、新駅プロモーション戦略と新駅利用客の属性に対応した経済効果を追及する戦略の実施を述べていますが、それぞれ何をどのようにすることか伺いたい。また、七戸町の優れた歴史・文化資源等を観光資源として有効に活用していくため、観光振興計画・文化財保護計

画の策定をしているか、イオンなど駅周辺と中心市街地の商店が、ともにそれぞれの役割を果たすようイオン進出の影響はどうか、プレミアムつき商品券の発行はどうか伺いたい。

町の経済効果に結びつく施策の展開を図る

町長

駅開業を来年に控え、県及びJR等と連携しながら、多くの方々が七戸町を訪れ、また、駅利用のPRに努めながら、町の経済効果に結びつく施策の展開を図りたいと考えております。観光振興計画については、具体的に取組みを進めていく状況ではありませんので、改めてお詫び申し上げます。七戸城跡整備については、財政上の見通しがついた時点で、計画を再開したいと思っております。なお、二ツ森貝塚古代住居については、本年度予算において、補修することになっております。

また、イオン進出については、道の駅を含めて日常的に駅周辺を賑わいのあるものにしたい、ということですが、地元商店にいろいろな影響があると思っておりますので、今後一緒に協議しながら、進めたいと思っております。なお、プレミアム商品券については、具体的な内容での要請又は提案はありませんでしたが、今後そのような話があれば、前向きに検討しなければならぬと考えております。

地域産業振興による経済の基盤整備について

議員

選挙公約の2番目に、地域産業の振興による経済の基盤整備を掲げ、町長は、今年度は何を、来年度は何をどのように行おうとしているのか伺いたい。また、地元農業の振興を町民の取り組みにするために「食の町づくり条例」や「食料の安全と安定供給対策を確立する七戸町宣言」を制定し、地産地消、食育、食品開発を進めるため、「食の町づくり課」を新設することを

提案したいがいかなものか伺いたい。

安全な産地としてのブランドの確立を目指したい

町長

現在国内農業における農産物が見直されつつあり、当町には6品目について県のオーガニック認証を受けた特別栽培の農産物がありますが、今後、品目・数量ともに拡大し、安全な産地としてのブランドの確立を目指していきたいと考えております。また、転作の見直しや水田の多面的なフル活用も政策として出されていることから、これらの政策を町の農業の実態と照らし、必要があれば助成措置を講じて進めたいと思っております。そして、これらを進める上で、宣言あるいは条例制定などについて、検討してみなければならぬと考えております。

また、「食の町づくり課」の新設をしながら、業務の対応はできるものと思っております。

高齢者安心生活ゾーンの検討について

議員

選挙公約の3番目に、保健・医療・福祉の柔軟な連携による少子高齢化対策を掲げ、「高齢者安心生活ゾーン」の検討とありますが、このことについて何をどのような見直しを持って行おうとしているのか伺いたい。また、出産・養育等に関する金銭的負担軽減化について、何をいつ行おうとしているのか伺いたい。

高齢者が見守り助け合いながら生活のできるゾーンを検討したい

町長

現在当町の一人暮らし高齢者世帯は376世帯を超え、また、高齢者夫婦世帯に至っては約1500世帯あり、全世帯数の約20%を占めており、今後さらに増加していくものと思っております。高齢者の生活上の深刻な問題となってくるのが、外出のための交通手段でありますが、旧七戸地区の中心市街地には公共施設、医療機

関、金融機関及びスーパーなどの施設が多数存在しておりますので、中心街の空き家やアパートなどを有効に活用できないのか、あるいは民間資金等を活用した高齢者の共同生活の場など、高齢者がお互いを見守り、助け合いながら生活をする、安心生活ゾーンを検討してみたいと思っております。このことは、そこに住み、生活する人が増加することによって、中心市街地の再開発あるいは活性化につながっていくものと思っております。

次に、出産、養育等に関する負担軽減については、既に、乳幼児医療費給付事業で県内の医療機関での現物給付、出産祝い金、妊婦健診、5歳児健診など、一貫した負担軽減を実施しております。また、教育資金についても町独自の奨学金制度を創設しております。なお、医療費給付事業の対象年齢を今まで就学前の乳幼児まででしたが、これから中学生まで拡大していきたいと考えておりますので、早急に検討したいと思っております。



瀬川 左一 議員

つつじの木 オーナー制度 について

議 員

町の花であるつつじを、新幹線開業に向けて観光資源としていくべきと考え、その有効な制度として、つ

つつじの木オーナー制度を提案したいと思いますが、町長の考えを聞きたい。

また、昨年度、町では牧場通りにつつじを植樹しましたが、今後のつつじの植樹計画と木の確保状況を知りたい。

新幹線開業に向けて取り組んでいきたい

町 長

当町のつつじ祭りは年々観光客が増えて、重要な観光資源となつてきており、また、昨年度から3カ年計画でつつじロードの整備に着手して、奥羽牧場正門から1・25キロメートルに山つつじ300本を植栽し、新たな観光資源として期待されております。

今後、さらにつつじを生かした観光資源の充実を図るための「つつじの木オーナー制度」につきましては、新幹線駅周辺への植栽が可能であれば誘客につながっていくのではないかと考えております。いずれにしても、オーナー制度を作るた

めには、植栽場所の選定、募集の方法、オーナーの負担金、つつじの確保、管理方法等の検討が必要となりますが、今後いろいろな調査をしながら、来年12月の新幹線開業に向けて、取り組んでいきたいと思えます。

また、牧場通りの植栽は3年間で1000本という当初の計画ですので、あと700本ですが、より良いつつじの木を確保している状況です。

グリーン・ツーリズムの振興は

議 員

当町では、旧天間林のころからグリーン・ツーリズムの振興に力を入れておりますが、まだまだ先進地に比べるとインフラ整備はもちろん必要と思われませんが、何よりも七戸町の農業や自然に魅力を持って訪れる人を満足させ、リピーターとする企画が必要です。魅力あるグリーン・ツーリズムを企画し、農家などの受け入れ側の研修を行い、効果

グリーン・ツーリズムなど本格的に推進したい

町 長

町では、平成16年度に体験交流の受け入れ施設として、花松地区に宿泊施設「かだれ天間林」を開設し、ここを拠点にグリーン・ツーリズム研究会を発足し、現在は、「かだれ天間林田舎体験の会」として町内外から参加者を募って、農産物の収穫体験や小学校高学年を対象に、田舎暮らし体験イベントを実施してまいりました。

昨年は148名の参加があり、農業体験や郷土料理を通じた交流が好評で、一定の方向が見えてきたと思っております。

来々12月には待望の東北新幹線七戸（仮称）駅が開業されることから、この恵

まれた機会を生かし、修学旅行生や都市部の人々をターゲットにグリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズムなど本格的に推進していきたいと思っております。

今まで会員を中心に農家民泊営業許可の取得を進めてまいりましたが、現在7戸が取得しており、今年度は6戸が申請中であり、今年度は、町内で修学旅行を受け入れるためには30戸以上が必要であることから、さらにこの取得を推進することにしております。

また、農業をはじめ、さまざまな体験活動の実践的な指導ができる、グリーン・ツーリズムインストラクターは、現在9名が認定されていますが、さらに増員していくことで進めてまいります。

これらの活動は、これまで行政主体で進めてまいりましたが、今後は本格的にグリーン・ツーリズム事業を実施するとなれば、民間組織での自主的な運営にしなければならずと思っております。

いずれにしても、農家所得の向上や地域の活性化につながっていくものであり、農業のいわゆる三次産業化ともいべき試みの推進のためプロジェクトチームが必要となれば、積極的に推進していきたいと思っております。専門家の知恵も借りなければならぬと考えておりますので、修学旅行生を本当に呼び込めるような体制づくりを考えながら、積極的に研修に取り組み、このグリーン・ツーリズムを進めていきたいと思っております。



川村三十三 議員

新町長の町政について

議員

この度の町長選挙で、小又町長は合併後二代目の町長の座を得ることができ、おめでとうございました。今後の活動に大いに期待すると同時に、注目してまいります。町長は選挙戦を通じて、また、町の広報誌の中で、政治信条や政治理念について、「公平・公正・清廉」を前面に、そして「ひとり一人の暮らしを大切にす七戸町でありたい」と述べられております。

さて、今期6月定例会に

提案された補正予算4億5800万円のうち、4億3000万円余りに付いては、地域活性化・経済危機対策費として、国から臨時交付されたものであります。この使途内容を見ると、土木・建設関係費に、補正予算総額の75%に当たる3億2000万円余りが振り向けられております。町長選挙後の大型補正予算であるだけに、町長が予算編成に当たって、町長の政治信条である「公平・公正・清廉」

さが、どの部分に反映されているのか、町長の見解を伺いたい。

公正・客観的な立場で予算編成した

町長

はじめに、私の政治理念は、各種施策の具現化のために、町政全般にわたって、「公平・公正・清廉」の精神で、積極的に町政運営を進めていくことにあると思っております。

今回の補正予算は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源とするも

のですが、当町は新幹線駅周辺整備があることから、若干多めの交付金額となっております。そしてこの交付金事業は、改修工事や補修工事に使えることから、

これまで財政的理由で整備できなかった、庁舎の身体障害者用トイレ設置、武道館内外装・屋根改修、天間東小学校体育館器具庫屋根改修、南公民館施設改修などの事業も行うことにいたしました。

総事業費約4億3000万円のうち、交付金対象事業費約4億1700万円の対し、3億8200万円の

臨時交付金を見込んでおりますが、道路関係・水道関係に4分の3を充てたいしました。これは平成21年度当初予算の建設関係予算が、9000万円しか計上できなかったことから、これまで町民から要望のあった道路工事等について、優先的に臨時交付金を活用させていた、いただきました。

また、新幹線駅周辺整備に伴い、今後建設される観光交流センターや、既存の

道の駅において、ICTを利用した積極的な事業展開するため、ICT関係を構築することにより、その効果が十分に出るものと思っております。

今回の補正予算は国の地域活性化・経済危機対策によるものですが、公正かつ客観的な立場で予算編成しましたので、この事業推進に努めておりますのでご理解ください。

中・高の連係強化をより密にして欲しいが

議員

中学校と高等学校の連係強化について、とりわけ、七戸町内の中学校と地元七戸高校との関係ですが、現在、七戸高校在籍者の市町村別割合は、七戸町42・5%、十和田市35・6%、東北町16・7%、その他、野辺地町、六ヶ所村、三沢市となっており、七戸町の半数以上の中学生は、他市町の高校へと進んでおります。

七戸高校は、総合学科制

を県内でいち早く取り入れ、今日に至っておりますが、応募生徒数が減少傾向にあるように見受けられます。七戸高校の存続に向けて、地元中学校の生徒が地元の

高校へ進学するように、中・高校の連係をより密にして欲しいが、如何なものか教育長に伺いたい。

七高と協議の上管内各中学校と一層の連係強化を検討したい

教育長

平成18年12月に改正された教育基本法第13条に「学校、家庭、地域住民等の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連係協力に努めるものとす」と、新に規定されました。これは、社会を構成する全てのものが、教育を担うという考え方が根底にあると思えます。そして、学校は地域に根ざし、地域から信頼を得られる教育を進めることが求められています。学校と家庭を含めた地域ぐるみで、子ども

達を育てる環境を整備することで、地域の絆が強まり、地域の教育力が高められ、さらには地域の活性化が図られることと思っております。

教育委員会としても、町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、七戸高等学校及び七戸養護学校との学校の連係と協力が重要であると考えているところであり、昨年度まで3年間継続して、七戸高等学校と七戸中学校との連係の取り組みを実施しているところであります。七戸高等学校は地域の学校という意味合いをしっかりと心に刻んで、中・高連係の強化に取り組んでまいりたいと考えております。具体的には、定例教育委員会や定例校長会に提案して、共通理解を図りながら、七戸高等学校とも協議の上、管内の各中学校との連係を一層強化できるように検討してまいりたいと考えております。

七戸高校は、総合学科制



寒河江市役所にて概要説明等を受ける



駅長の案内により道の駅を視察する



チェリーランドさがえの観光物産センター全景



角川里の自然環境学校で田中議長が挨拶



角川里の自然環境学校にて郷土料理で昼食



里山ログハウスで説明を受ける（里が一望できる）

議員研修視察

平成21年5月26日から27日の2日間、山形県の寒河江市並びに戸沢村を視察してまいりました。

1日目は、寒河江市道の駅寒河江（チェリーランド）の視察です。東北一とも言われる道の駅寒河江は、総事業費53億円、総面積は約130000㎡（内河川敷公園80000㎡）と大規模な施設であり、年間17万人もの観光客が訪れているそうです。

2日目は、戸沢村角川里の自然環境学校を視察しました。

農山村の自然や文化を次世代へ伝え、豊かに生きるための知恵や技術を教え、子ども達と一緒にふるさと作りを進めている。

山・川・食・農・ものづくり・民話など多彩なプログラムを実施しており、住民による地域運営学校として、継続的な自然体験学習を展開しているそうです。

委員会の動き

◎文教厚生常任委員会

開催日 平成21年5月22日

案件 ①子どもの安全問題について

②平成21年度各課事務事業計画について

内容 子どもの安全問題について担当課長より説明を受け、委員会報告の取りまとめをおこなった。その後、各課長より21年度の主要な事務事業計画について説明を受けた。

開催日 平成21年6月29日

案件 ①学校訪問について(七戸小学校・城南小学校・天間西小学校・天間東小学校)

内容 各小学校を訪問し、教育方針や学校、生徒の様子などの説明を受け、授業を視察した。

開催日 平成21年7月8日

案件 ①学校訪問について(七戸中学校・天間館中学校・榎林中学校)

内容 各中学校を訪問し、教育方針や学校、生徒の様子などの説明を受け、授業を視察した。

◎建設産業常任委員会

開催日 平成21年5月29日

案件 ①平成21年度各課事務事業計画について

②滞納状況について

内容 各課長より21年度の主要な事務事業計画、また、建設課及び上下水道課より使用料滞納状況について説明を受けた。

◎総務企画常任委員会

開催日 平成21年6月1日

案件 ①平成21年度各課事務事業計画について

②平成20年度の徴収見込みについて

内容 各課長より21年度の主要な事務事業計画また、平成20年度の税徴収見込みについて説明を受けた。

◎議会運営委員会

開催日 平成21年6月4日

案件 ①定例会の会期日程について

・提出議案について

・一般質問通告書について

内容 総務課長、企画財政課長から提出議案等の説明を受けた後、会期日程、請願・陳情について審議した。

開催日 平成21年6月11日

案件 ①追加案件について

内容 担当課長より追加案件の説明を受け審議した。

◎東北新幹線対策特別委員会

開催日 平成21年5月29日

案件 ①駅周辺整備状況について

内容 新幹線建設対策課長より整備状況について説明を受け、その後、現地調査を行った。

◎道路整備促進特別委員会

開催日 平成21年5月29日

案件 ①一般国道45号上北横断道路の現状について

②現地調査について

内容 建設課長より委員会活動の報告及び整備状況について説明を受け、その後、現地調査を行った。

◎議会広報編集特別委員会

開催日 平成21年7月7日・14日

案件 ①議会広報について

内容 8月発行の議会だよりの校正等を行った。

◎議会議員全員協議会

開催日 平成21年7月14日

案件 ①職員の懲戒処分について

内容 懲戒処分について、町長並びに副町長より報告を受けた。また、情報基盤整備事業については担当課長より説明を受けた。

県下町村議会議員研修会

7月16日、県町村議会議長会主催の研修会が開催されました。これは、毎年町村議員を対象に行われている研修会です。今年講師に経済ジャーナリストの須田慎一郎氏をお迎えし、「これからの政局展望」と題して講演いただきました。

編集後記

百年に一度の経済危機の中、来年12月には新幹線開業という希望があるもの、七戸町を取り巻く環境は厳しいものがあります。雇用の創出、景気の浮揚、医療・福祉の充実、少子高齢化、温暖化対策等難問を抱えております。町の「宝」である子ども達に夢と希望が叶えられるような教育を、若者が定住できるような職場を、高齢者の方々には安全・安心を提供できるような環境を創出してあげたいと思います。4月に選出されました小又町長には、町民の視点に立って、「ハコ」創りから「人」創りへと方向転換の先頭に立って指導力を発揮して欲しいと思います。(松本)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 松本 祐一
- 副委員長 川村 三十三
- 委員 盛田 恵津子
- 委員 瀬川 左一
- 委員 佐々木 寿夫